

これからの保健医療教育

昭和 50 年度文部省科学研究費総合研究において 医学教育ならびに看護教育研究班は カリキュラム計画および教育方法の具体案作成のために総合的研究を行った。これらの作業は 今日の保健医療教育の在り方・考え方そのものに根本的メスを入れようとするものとして注目される。これまでも 世界的動向に比してその立ち遅れが指摘されている教育学的研究に 本格的に着手しようとする画期的試みといえよう。

すでに試案が出されている現在 医学・看護に焦点を合わせてこの領域で精力的に活躍されている 4 氏にご参加願ひ 話し合いをしていただいた。なおこの誌上シンポジウムは 報告 1, 2 とそれに基づく討議から構成されているが テーマの大きさに加えて時間の制限もあり 残念ながらいくつかの論点に言及しえなかったこと 討議が十分に深められなかったことを編集部としてあらかじめお断わりしておきたい。これらについては 今後継続して誌上でとりあげてゆく予定である。

〔報告・1〕

医学教育の今日的課題……………牛場 大蔵

〔報告・2〕

看護教育の今日的課題……………近藤 潤子

〔討 議〕

保健医療教育の現状と改革への展望

——教育学のアプローチを中心として

〈出席者〉牛場大蔵・近藤潤子・鈴木淳一・小島操子